



広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 ☎ 2111 内線240



早く大きくなつてネ

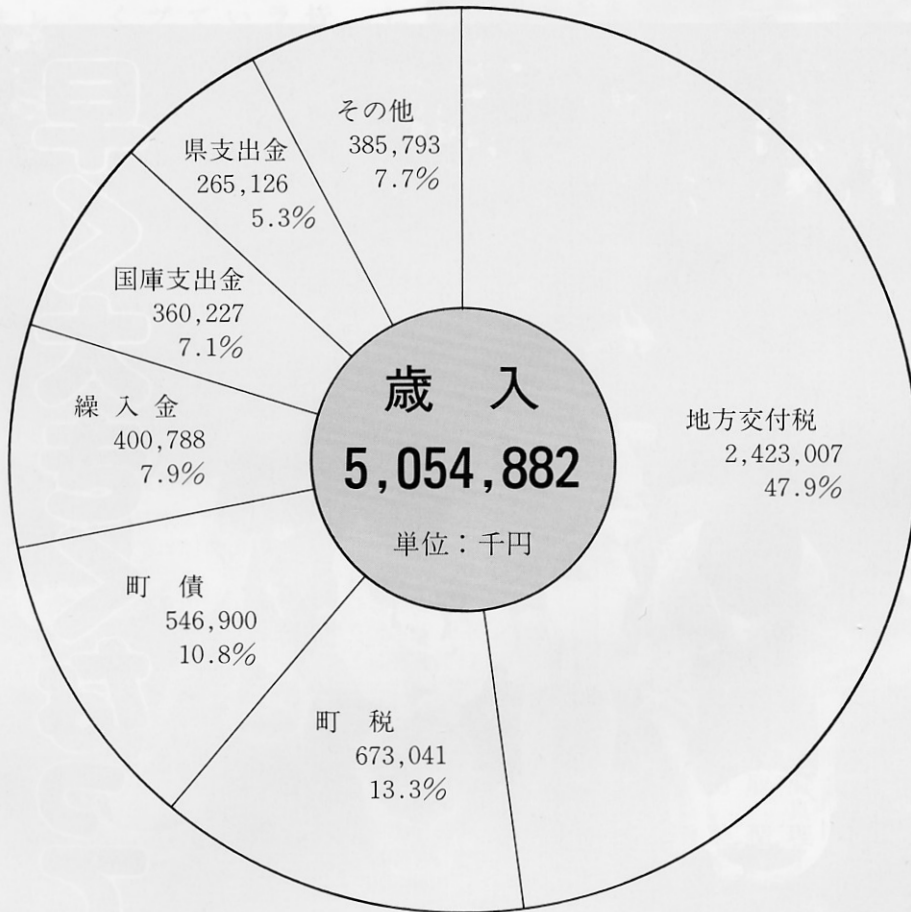
1993
10

No.330

10月4日行われた
コイの稚魚放流

48億3,526万円の使いみち

平成4年度 一般会計 2億1,647万円の黒字決算



九月定例議会で平成4年度一般会計と特別会計の各決算が承認されました。一般会計の歳入が五〇億五、四八八万一千、六五九円(対前年度比八・四%増)、歳出が四八億三、五二六万九千九百九十九円(対前年度比九・三%増)となっており、翌年度に繰り越す財源が三億一、五百万円あり差引二億一、六四七万六千七百〇円の黒字計上に至りました。皆さんから頂いた税金や国からの地方交付税の使い道等のお知らせをお願いします。

用語解説

地方交付税…地方自治体の税収が、地域の特性による格差をなくすため、国からある一定の基準により与えられる財源

町債…多額の費用を必要とする事業を行なうため国、県からの借入金

国庫支出金…町が支出する特定の経費に対して国が交付する支出金

県支出金…町が支出する特定の経費に対して県が交付する支出金

総務費…一般事務や選挙、財産管理などの経費

教育費…学校教育、社会教育の経費

農林水産業費…農林業の振興、農道、林道の経費

衛生費…ゴミ処理や健康診断、ガン検診などの経費

公債費…起債借入の償還金

民生費…高齢者や児童、障害者の福祉にかかる経費

土木費…道路整備や住宅建設、除雪などの経費

諸支出金…基金積立て金など

消防費…消防事務や災害防除活動の経費

町民一人当りの税負担

町 税 内 訳

一人当りの金額は、平成5年3月31日現在の町の人口12,870人で割ったものです。

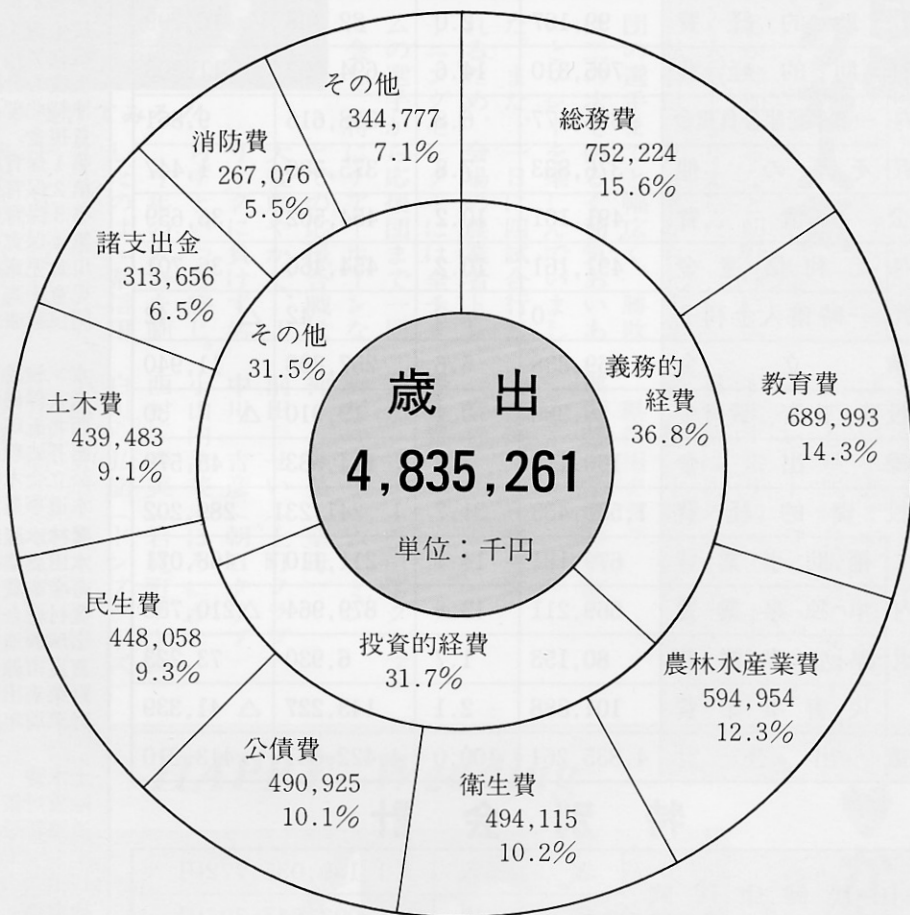
町 民 税	22,741円
固定資産税	24,330円
軽自動車税	1,053円
町たばこ税	4,171円
計	52,295円

	収入済額	収入未済額
町 民 税	292,677千円	13,460千円
固定資産税	313,132千円	49,785千円
軽自動車税	13,551千円	173千円
町たばこ税	53,681千円	0
計	673,041千円	63,418千円

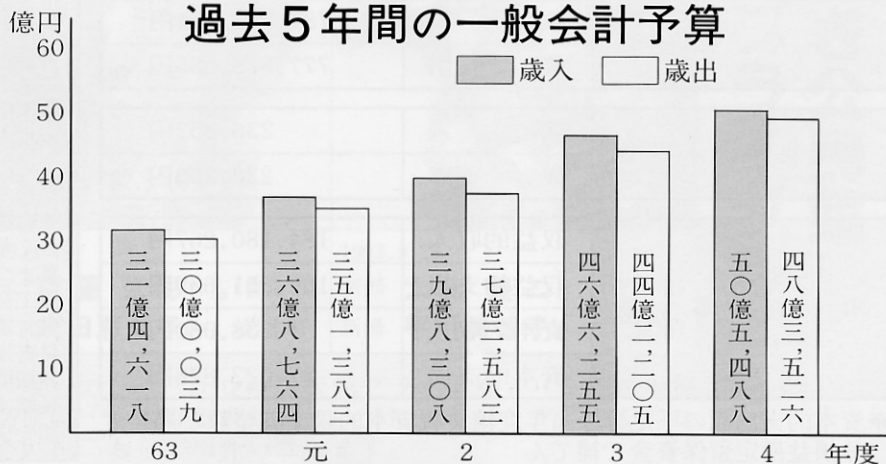
町民一人当りに使われたお金

総 額	375,700円
-----	----------

議 会 費	7,210円
総 務 費	58,448円
民 生 費	34,814円
衛 生 費	38,393円
労 働 費	465円
農 林 水 産 業 費	46,228円
商 工 費	11,197円
土 木 費	34,148円
消 防 費	20,752円
教 育 費	53,612円
災 害 復 旧 費	7,917円
公 債 費	38,145円
諸 支 出 金	24,371円



過去5年間の一般会計予算



性質別経費内訳

区分	平成4年度		平成3年度	増減 (千円)	
	決算額 (千円)	構成比 (%)	決算額 (千円)		
人件費	1,190,874	24.6	1,118,998	71,876	
物件費	294,404	6.1	320,760	△ 26,356	
維持修繕費	74,082	1.5	117,849	△ 43,767	
扶助的経費	99,167	2.0	82,368	16,799	
補助的経費	705,310	14.6	694,002	11,308	
内訳	一部事務組合負担金	328,477	6.8	318,616	9,861
	その他	376,833	7.8	375,386	1,447
公債費	491,161	10.2	454,502	36,659	
内訳	元利償還金	491,161	10.2	454,460	36,701
	一時借入金利息	0	0	42	△ 42
積立金	269,838	5.6	257,898	11,940	
投資、出資、貸付金	19,880	0.4	19,910	△ 30	
繰出金	160,112	3.3	114,533	45,579	
投資的経費	1,530,433	31.7	1,241,231	289,202	
内訳	補助事業費	679,181	14.1	211,110	468,071
	単独事業費	669,211	13.8	879,964	△ 210,753
	県営事業費	80,153	1.7	6,930	73,223
	災害事業費	101,888	2.1	143,227	△ 41,339
歳出合計	4,835,261	100.0	4,422,051	413,210	

特別会計

国民健康保険	歳入	1,139,035,772円
	歳出	1,093,843,397円

老人保健	歳入	784,521,084円
	歳出	777,878,085円

農業集落排水事業	歳入	236,252円
	歳出	236,252円

水道事業	収益的収入	184,180,267円
	収益的支出	167,551,699円
	資本的収入	1,338,980円
	資本的支出	87,022,876円

※資本的支出額の不足分は当年度消費税資本的収支調整額と過年度分損益勘定留保資金で補てん

主な歳出の内訳

(単位：千円)

総務費・消防費	
広報かなぎ印刷費	1,808
行政情報電算処理費	8,166
交通安全対策費	8,705
地域づくり推進事業費	215,137
納税貯蓄組合報奨金	15,024
参議院議員選挙費	3,766
津軽北部広域事務組合(消防)	
負担金	246,516
防火水槽新設工事費	4,841
民生費・衛生費	
町社会福祉協議会補助金	10,500
重度心身障害者医療費助成	16,249
津軽北部広域事務組合(老人福祉)	
負担金	9,839
第1保育所費	56,732
第2保育所費	49,584
第3保育所費	53,764
第4保育所費	49,367
川倉児童館費	18,022
児童手当	24,075
国民健康保険特別会計繰出金	
	72,779
ガン検診等委託料	13,335
老人保健特別会計繰出金	38,565
西北五環境事務組合負担金	61,097
塵芥処理費	17,950
公立金木病院組合負担金	180,957
水道事業特別会計繰出金	27,006
農林水産業費	
水田農業確立対策事業費	22,811
畜産事業費	23,578
農村総合整備モデル事業費	49,794
広域農道整備促進費	18,960
喜良市線林道開設工事費	120,042
野菜集出荷施設建築工事費	65,497
野菜周年産地育成事業補助金	22,916
土木費	
除雪対策費	50,639
道路新設改良費	116,187
まちづくり事業費	65,522
住宅建設費	68,815
教育費	
金木小学校管理費	45,623
川倉小学校管理費	18,790
嘉瀬小学校管理費	22,600
喜良市小学校管理費	26,951
川倉小学校建設費	342,022
金木中学校管理費	31,010
金木南中学校管理費	24,282
公民館費	48,521
運動公園整備費	21,814
その他	
さくらまつり助成金	3,600
夏まつり助成金	3,017
商工会助成金	4,000
県営水環境整備事業負担金	26,650
災害復旧費	101,888
長期償還元金	286,728
長期償還利子	204,197
基金積立金	313,656

長寿を祝い敬老大会開催

九十歳以上の長寿者四十名



これからも健康で長生きして下さい

長年にわたって社会に貢献された方々の長寿を祝し、明るく健やかな老後を築くための誓いを新たにしよう、平成五年度敬老大会が九月九日中央公民館で行われました。大会では、長年社会のため

に貢献された物故者に対し黙とうを捧げ、田中町長が「健康に留意し、百歳までも長生きして私たちに指導下さい」とあいさつしました。この後九十歳や八十五歳に達した長

配られ、「扇松会」の皆さんが手踊りや歌謡ショーを披露。この日集まった五百人のお年寄りたちは満面の笑みで楽しい一日を過ごしていました。

※顕彰受賞者は次のとおり
県顕彰受賞者
 90歳に達した長寿者
 葛西 キワ (湯の川)
 伊藤 ソ子 (中小栗崎)
 高松 ちゑ (湯の川)
 田中 ミキ (若松町)
 原田 リヨ (上古町)

町顕彰受賞者
 田中 きよ (南新町)
 三上長太郎 (上小栗崎)
 米塚 トミ (新富町)
 阿部 定直 (芦野町)
 (以上町顕彰も同時受賞)
 町顕彰受賞者
 90歳以上の長寿者
 榎方 さな (東町) 98歳
 黒川 ふに (後町) 97歳
 角田 サト (朝日町) 96歳
 濱田 さき (嘉瀬下派立) 96歳
 葛西 つよ (更生部落) 96歳
 戸崎 チヨ (湯の川) 96歳
 葛西 ちぎ (若松町) 95歳
 工藤福太郎 (湯の川) 95歳
 泉谷ヒヤク (向道) 95歳
 外崎惣五郎 (蒔田) 94歳
 秋元 ハル (新富町) 93歳
 澤田 ソノ (下昭和町) 93歳
 加藤 ツヨ (若松町) 93歳
 大佐賀三次郎 (向道) 93歳
 工藤喜代衛 (美晴町) 92歳
 小山内晴夫 (美晴町) 92歳
 藤元 スミ (三軒町) 92歳
 中谷 カヨ (向道) 92歳
 徳田 ツセ (芦野町) 92歳
 津島 サヨ (米町) 92歳

寿者等に県顕彰状、町顕彰状や記念品が贈呈されました。続いて行われた小学生の作文朗読は、日頃のおじいさんおばあさんのことをつづった作文が発表され、お年寄りたちの笑いや涙を誘っていました。

お昼には、おにぎりやジュースが
 黒川 英三 (更生部落) 85歳に達する長寿者
 櫻庭 実 (野崎) 90歳
 小野 トシ (寺町) 90歳
 澤田 トシ (喜良市上派立) 90歳
 伊丸岡浅五郎 (喜良市上派立) 90歳
 古川 キエ (下柏木) 90歳
 山中モリエ (上山道町) 90歳
 西村 ツセ (林町) 90歳
 石戸谷末太郎 (昭和町) 90歳
 小山内タヨ (下古町) 90歳
 相内 やえ (湯の川) 90歳
 古川 タヨ (川端町) 90歳
 岩村兼太郎 (下昭和町) 90歳
 阿部アグリ (神明町) 90歳
 吉田 ミセ (沢部) 90歳
 斉藤 キミ (湯の川) 90歳
 安田 金作 (上古町) 90歳
 阿部 ヒテ (神明町) 90歳
 澤田 クニ (上古町) 90歳
 三上 藤市 (小川町) 90歳

山 中 ヤサ (下鍛冶町) 92歳
 上 森 マサ (昭和町) 92歳
 秋 元 ヤヨ (林下) 91歳
 榎 方 ヤサコ (野崎) 91歳
 石 戸 谷 ヤス (神明町) 91歳
 今 ツナ (浦町) 91歳
 黒 川 ソネ (野崎) 91歳
 白 川 夕子 (蒔田) 90歳
 角 田 こと (小川町) 90歳
 白 川 ヒデ (湯の川) 90歳
 榎 方 おりよ (野崎) 90歳
 櫻 庭 英三 (更生部落) 85歳に達する長寿者
 小 野 実 (野崎) 90歳
 澤 田 トシ (寺町) 90歳
 伊 丸 岡 浅 五 郎 (喜良市上派立) 90歳
 古 川 キエ (下柏木) 90歳
 山 中 モ リ エ (上山道町) 90歳
 西 村 ツ セ (林町) 90歳
 石 戸 谷 末 太 郎 (昭和町) 90歳
 小 山 内 タ ヨ (下古町) 90歳
 相 内 や え (湯の川) 90歳
 古 川 タ ヨ (川端町) 90歳
 岩 村 兼 太 郎 (下昭和町) 90歳
 阿 部 ア グ リ (神明町) 90歳
 吉 田 ミ セ (沢部) 90歳
 斉 藤 キ ミ (湯の川) 90歳
 安 田 金 作 (上古町) 90歳
 阿 部 ヒ テ (神明町) 90歳
 澤 田 ク ニ (上古町) 90歳
 三 上 藤 市 (小川町) 90歳

大 川 ツル (下中柏木) 90歳
 外 崎 た け (蒔田) 90歳
 中 谷 キヤ (上小栗崎) 90歳
 桑 田 ミヨ (上派立) 90歳
 板 谷 ツマ (神明町) 90歳
 原 田 リン子 (藤枝) 90歳
 山 中 清市 (冷水) 90歳
 原 田 ツエ (嘉瀬本町) 90歳
 沢 田 フミ (芦野団地) 90歳
 岡 田 トシ (北本町) 90歳
 夏 坂 徳藏 (神明町) 90歳
 津 島 多七 (見崎町) 90歳
 今 カヨ (喜良市川端町) 90歳
 松 川 ヒサ (嘉瀬上派立) 90歳
 伊 藤 七 五 郎 (下小栗崎) 90歳
 白 川 由吉 (蒔田) 90歳
 さくら (中山道町) 90歳
 櫻 庭 兵 太 郎 (中山道町) 90歳
 津 島 憲雄 (寺町) 90歳
 つせ (芦野団地) 90歳
 逢 坂 繁勝 (芦野団地) 90歳

敬老大会終了後にお亡くなりになった方々に対しましては、心からご冥福を申し上げます。

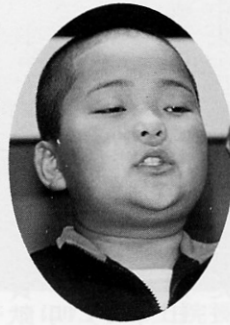
感激した小学生の作文

「ぼくのおじいちゃん」と

おばあちゃん

金木小学校四年

福士 孔



ぼくの家族は、おじいちゃん、おばあちゃん、おとうさん、おねえちゃんの五人です。でも、おとうさんは、一年中でかせぎにいつてるので、ぼくと、おねえちゃんのめんどうは、おじいちゃんとおばあちゃんがみてくれています。おじいちゃんは日よう日になると、つりにつれていつてくれます。おじいちゃんは、つりが上手で、ぼくにリールの投げ方や、一本ざおの投げ方をおしえて、魚がたくさんとれる方法をおしえてくれます。この前、ひみつの場所にいったら、魚がバチャバチャとはねていたので、とあみを

なげてみたら、こいが二ひきと、ふなが二十ひきくらいとれました。おじいちゃんは、「このひみつのばしよは、ぜつたい、だれにもおしえないでおぐべし。」といいました。だから、ぼくはおじいちゃんとのやくそくをまもります。そのとつたさかなは、おばあちゃんが、さけをいれてつておきます。そうすると、冬においしいすしができます。おじいちゃんが大きすぎて、朝と夜にかならずたべます。おばあちゃんは、あしがわるくてなかなか歩けません。でも、お母さんのかわりに、ごはんをつくつたり、せんたくをしたり、さんかん日に来てくれます。だからまい日つかれてかたがこつているのにおくはあまりつだいもしないし、くちをききます。でもさいきんおばあちゃんはあたまがいたくなるとよく言います。ねていけばいいのに、少しすわつただけでまた仕事をします。そんなおばあちゃん

をみて、ぼくは一つのけつしんをしました。それは、しんぶんはいたつをしてお金をためて、かたたたきのきかいをかつてあげたいのです。そうすればおばあちゃんは少しでもらくになると思います。でもせんせいが、「五年生のおわりまでまちなさい。」といつたので、ぼくはがっかりしま

「わたしのおばあちゃん」

喜良市小学校三年

今 悠貴



「いだなあ。」おばあちゃんは声をかけて、げんかんに入つていききました。おくからよそのおばあちゃんが、「よぐがんばるつきやあ。」と言いながら出てきました。「今月分は、二千円だじゃ。」と言つて、お金をもらつと、「まだ今度くるじゃ。」と言つて、次の家に行きました。わたしのおばあちゃんは、

でもいつかきつとしんぶんはいたつをして、やく二十万円するかたたたきのきかいをかつてあげたいです。それまでは元気でいてもらえようにかたもみをしてあげます。そしてぼくが大人になつてはたらくようになったらおんせんにつれていつてあげるのがゆめです。

ぎゆうにゆうはいたつをしています。今日は、そのしゆうさんの日です。

次の家で、おばあちゃんといつしよに、わたしもげんかんに入りました。おばあちゃんは、わたしのことを

「まごむすめだじゃ。」とじまんとして、しよつかいしました。よそのおばあさんは、「大つきくなつたな。」と、うなずきながら、

「ちつちえ時は、いつもおばあちゃんのうしろにかくれて顔だしていたず、今だから、おばあちゃんの横に立つて、ちやんとあいさつするようになったな。大きくなつたな。」とほめてくれました。うれしか

つたです。おばあちゃんは、わたしが赤ちゃんの時、めんどうを見てくださいました。

お父さんとお母さんが二人とも仕事にでているからです。赤ちゃんのころは、わたしをうば車にのせてぎゆうにゆうはいたつにつれていつたのです。だから、みんなわたしのことを知っていました。

「はきはきして、あいさついいな。」とほめられました。わたしはぎゆうにゆうのしゆう金についできてよかつたなと思ひました。

一けんずつあいさつしながら次々と回つているうちに足がいたくなりました。おばあちゃんつかれてないかなあと思つておばあちゃんの顔を見てみたら、おばあちゃんは、少しもつかれた様子がありませんでした。何げんも回つているのに、元気だなあとかんしんしました。

二十けんぐらい回つて、やつと帰つてきました。わたしは、ほつとしました。おばあちゃんは、車庫の前でこしをおろして一休みしま

した。そして、しばらくすると、「やるが。」と気合を入れて立ちあがりました。ゴム手ぶくろをはめて、こんどは畑仕事に取りかかりました。わたしはびくりしました。おばあちゃんは年をとっているけど次々に仕事をやるからです。

「働き者のおじいさんと
おばあさん」

嘉瀬小学校五年

原田 和子



わたしのおじいさんとおばあさんは、とても働き者です。朝の五時から、夕方七時ころまで仕事をします。

おじいさんは、朝ごはんの前に、七面鳥やにわとり、チヤボにえさをやったり、たま

つばい作るから、食べでけろ。」と、にこにこしながら言いました。

おばあちゃんは、一つの仕事が終わると、次の仕事をします。いつも、にこにこ仕事をします。とてもがんばりやです。わたしはどんな時でもにこにこしているおばあちゃんが、大スキです。

これからも元気で長生きして下さい。

ごをとったりします。時々おじいさんにたのまれて、わたしがたまごを取りに行くところ、わたしをばかにしてかかってきます。でも、おじいさんにはそうしません。おじいさんがいつもえさをやったりかわいがっているからかなあと思います。だから、小さいひよこも、あつという間に大きくなるのかなあと思います。

おばあさんは、朝ご飯の前や夕方、畑に行つて、ナスやキュウリなどの世話をします。

朝ご飯の後は、二人で田んぼに行きます。おじいさんが「今年、米、全然とれねな。」

と言っているので、大変だなあと思います。

冬になると、おばあさんが出かせぎに行くのでさびしくなります。電話もあまりかけてよこさないで、仕事がいそがしいのだなあと思います。

それでも、春に帰つてくると「出かせぎ文集、上手に書けたあつたつきや。」と言ってくれるので、とてもうれしいです。

二人は今、毎週火曜日の夕飯の後、金木の公民館に行つて、虫送りなどのたいこや手ぶり金の練習をしています。

おじいさんは、わたしに、「おめも、太鼓ただきてな。」というので、時々たいてみます。でも、おじいさんのように上手にいきません。おばあさんもたいこをやつたばかりなのにとても上手です。二人とも笑いながら楽しんでやっています。

やっていると、わたしもやってみたくありません。

そして、わたしも、笑いたくなつてしまいます。二人の様子を見てみると、火曜日が一番おもしろい日なんだなあと思います。

「私のおじいちゃん」

川倉小学校五年

泉谷 晴美



わたしは、二人が、いつまでも今のまま元気でいてほしいです。

私のおじいちゃんは、八十才でとても、ピンピンしています。

家では、草かりをしたり、茶わん洗いなどの仕事をしています。前までは、ついで歩いていたのですが、今では、もう、つえも使わないで歩けるようになりました。それで、すぐ近くに住んでいる、おじいちゃんの友達の家へ遊びに行けるようになりました。

おじいちゃんは、時々、私のことを、おこつたりします。

例えば、私が茶わん洗いをしない時には、「洗ながあ。」と、言つて、私をおこります。そんな時、私は、

「うるせ。」と、言います。そうすると、おじいちゃんは、私をむしりてすぐに、ふとんの中に入ってねむつてしまいます。

そんな時、少しだけ、私は「悪いことしたなあ。」と思います。なんで、そんなことをしたんだらうと思つたりします。

また、おじいちゃんは、とてもやさしい所があります。時々、お金をくれたりします。その時の顔は、とてもやさしい顔をしています。私はずっと、ずっとそのやさしい顔でいてほしいと思います。

けれども、私が悪い事をしたら、きびしくかつかつてほしいとも思います。

そして、おじいちゃんは、いつもにこにこして、けがや病氣もしないで、金さん、銀さんのようにずっと、ずっと、ずっと長生きしてほしいと思つています。最後になります。

が、私のおじいちゃんは、体がじょうぶで、いつも仕事は何でもテキパキできるような、元気なおじいちゃんになってほしいと心から思っています。